

皆野町 学校教育の在り方に関する保護者アンケート

平素より、町政には格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、現在、皆野町には、小学校3校・中学校1校があり、未来を担う子どもたちのため、より良い教育環境の整備に努めております。

しかしながら、4校いずれにおいても、子どもの大幅な減少や、施設の老朽化などにより、現在の教育体制および学校施設をそのまま維持していくことが困難な状況にあります。

これらの課題を解決していくため、昨年より「皆野町学校教育の在り方検討委員会」を立ち上げ、総合的な検討と議論を進めてきました。

そして、今後の子どもの数、小学校の複式学級化、検討委員会からの意見などを踏まえ、より良い教育環境のために、まずは小学校の統合・再編が不可欠であると判断し、さらに具体的な検討を進めているところです。

この度、小学校の統合・再編や、今後の小・中学校の在り方について、検討の参考とさせていただくため、広く保護者の皆さまからご意見を伺うアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年9月 皆野町長 黒澤 栄則

皆野町教育委員会教育長 新井 孝彦

■回答方法について

- ・このアンケートは、ウェブサイトより回答をお願いします。
- ・右のQRコードを読み取るか、または、URLからアクセスし、以下のIDを入力の上、アンケートに回答してください。

ID :

<回答用ウェブサイトURL>

※回答期限は、9月20日(金)です。

※スマートフォン、パソコン等での回答が可能です。

※IDは、重複回答を避けるためのもので、個人を特定する機能はありません。

■アンケートについて

- ・アンケートは、保護者の方が回答してください。
- ・お子さんが2人以上いる場合でも、1世帯につき1回のみ回答してください。
- ・このアンケートは、令和6年8月1日現在の中学3年生以下のお子さんがいる 計480世帯すべての保護者の方を対象に行っています。
- ・個人が特定されないように調査は無記名で行い、統計的に処理します。また、他の目的には使用しません。
- ・アンケートの集計結果は、後日、広報等で公開する予定です。

■お問合せ先

このアンケート調査に関してご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【問合せ先】 皆野町教育委員会事務局
電話：0494-62-4563

アンケートにお答えいただく前にお読みください

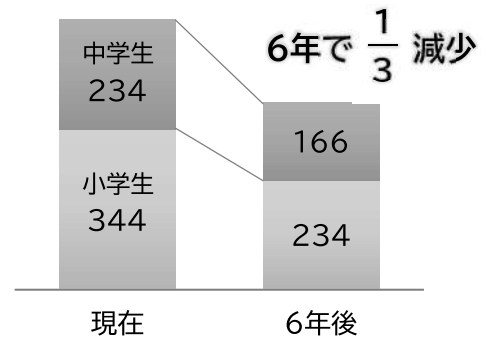
1. アンケート実施の経緯

■ 検討の背景 ■

今、皆野町では、急速に子どもの数が減少しています。全国的にも少子化が進んでおり、このような状況の中で、学校規模の適正化など、少子化への対応は急務となっています。

○現在、皆野町の小学生は 344 人、中学生は 234 人、
学級数は、町内 4 校すべてで 27 学級です。

○出生数から推計すると、6 年後の令和 12 年度には、
小学生は 234 人(-110 人/約 32%減)、
中学生は 166 人(-68 人/約 29%減)、
学級数は 17 学級(-10 学級/約 37%減)となり、
急速かつ大幅に減少することが予想されます。



急速な少子化に対応する教育環境の整備が必要

そこで「皆野町学校教育の在り方検討委員会」を立ち上げ、次世代を担う子どもたちのより良い教育環境を整備する総合的な検討を進めることとしました。

■ 検討委員会 ■

会議では、少子化による教育への影響、学校と地域の関わりかた、学校の統合・再編の必要性など、様々な角度からの意見交換がなされ、検討・議論が進められています。

昨年度末には、検討のまとめとして、次の点が報告されました。

- (1) 望ましい学級規模・学校規模を実現するため、小学校の統合について検討を進めるべき。
- (2) 統合の時期についても具体的に検討すべき。
- (3) 小学校と中学校の連携について、展望を持つべき。
- (4) 保護者の意見を把握するため、アンケートを実施するのがよい。

■ 小学校統合の検討 ■

町は、検討委員会からの意見、今後の児童数、複式学級化などを踏まえ、次のとおり判断しました。

- 子どもたちのより良い教育環境を図るためには、小学校の統合は不可欠である。
- 小学校統合の時期・方法について、今年 12 月までに町として方針を決定したい。

検討を進めるにあたり、保護者の方の意見を参考にするため、アンケート調査を実施することとしました。

2. 皆野町の児童生徒数

今後の児童生徒数の推移

現在(令和6年度)

		人数	学級数
皆野小学校	1年	44 人	2 学級
	2年	45 人	2 学級
	3年	47 人	2 学級
	4年	41 人	2 学級
	5年	51 人	2 学級
	6年	44 人	2 学級
	計	272 人	12 学級

3年後(令和9年度)

※現在の人口に基づく見込値

		人数	学級数
皆野小学校	1年	39 人	2 学級
	2年	33 人	1 学級
	3年	43 人	2 学級
	4年	44 人	2 学級
	5年	45 人	2 学級
	6年	47 人	2 学級
	計	251 人	11 学級

6年後(令和12年度)

※現在の人口に基づく見込値

		人数	学級数
皆野小学校	1年	19 人	1 学級
	2年	23 人	1 学級
	3年	34 人	1 学級
	4年	39 人	2 学級
	5年	33 人	1 学級
	6年	43 人	2 学級
	計	191 人	8 学級

国神小学校	1年	7 人	1 学級
	2年	9 人	複式1学級
	3年	6 人	
	4年	8 人	1 学級
	5年	10 人	1 学級
	6年	11 人	1 学級
	計	51 人	5 学級

国神小学校	1年	5 人	複式1学級
	2年	3 人	複式1学級
	3年	7 人	
	4年	7 人	複式1学級
	5年	9 人	複式1学級
	6年	6 人	
	計	37 人	3 学級

国神小学校	1年	3 人	複式1学級
	2年	2 人	複式1学級
	3年	6 人	
	4年	5 人	複式1学級
	5年	3 人	複式1学級
	6年	7 人	
	計	26 人	3 学級

三沢小学校	1年	2 人	複式1学級
	2年	3 人	複式1学級
	3年	3 人	
	4年	4 人	複式1学級
	5年	5 人	
	6年	4 人	複式1学級
	計	21 人	3 学級

三沢小学校	1年	1 人	複式1学級
	2年	3 人	複式1学級
	3年	4 人	
	4年	2 人	複式1学級
	5年	3 人	複式1学級
	6年	3 人	
	計	16 人	3 学級

三沢小学校	1年	2 人	複式1学級
	2年	3 人	複式1学級
	3年	4 人	
	4年	1 人	複式1学級
	5年	3 人	複式1学級
	6年	4 人	
	計	17 人	3 学級

皆野中学校	1年	76 人	2 学級
	2年	73 人	2 学級
	3年	85 人	3 学級
	計	234 人	7 学級

皆野中学校	1年	53 人	2 学級
	2年	66 人	2 学級
	3年	59 人	2 学級
	計	178 人	6 学級

皆野中学校	1年	53 人	2 学級
	2年	57 人	2 学級
	3年	56 人	2 学級
	計	166 人	6 学級

変化のポイント(学級数への影響)

- 皆野小学校では、2 年後に 1 学級の学年が現れ始めます。
- 国神小学校では、昨年度、初めて複式学級ができ、3 年後には全学年複式学級となります。
- 三沢小学校では、現在、全学年複式学級です。
- 皆野中学校では、8 年後の令和 14 年度に、1 学級の学年が現れ始めます。

複式学級とは

小学校において、児童数が少ない場合に、やむを得ず、複数の学年を 1 学級にした学級形態です。
複式学級となっても担任教諭は 1 人です。そのため、授業では 1 人の教諭が同時に複数の授業を行います。
(通常、一方の学年が指導を受けている間、もう一方の学年は自習課題などに取り組みます。)

皆野町の複式学級(学年)への対応

皆野町では、授業の制約などがなるべく生じないよう、町予算で教員を増員し、複式学級(学年)であっても、学年別に授業を行っています。

しかしながら、近年、教員の人材不足のため、増加教員の人材確保が困難になってきています。

3. 小規模校のメリット、デメリット

国の基準上、学校規模の標準は「12学級～18学級」とされています。

学級数が少ない学校においては、メリットもある一方、児童生徒数や教職員数が少なくなることによる影響も含め、学校運営上の課題が生じる可能性があります。

【メリット】

- ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ・意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ・様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ・教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。
- ・異年齢の学習活動を組みやすい。体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。 など

【デメリット】

- ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない。
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。
- ・運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育的効果が下がる。
- ・班活動やグループ分けに制約が生じる。
- ・クラス内で男女比の偏りが生じやすい。
- ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。
- ・児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。 など

※文部科学省 平成 27 年公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より抜粋

4. 皆野町立各学校の基礎情報

学校名	児童生徒数 (人) (令和6年度)	教職員数 (人) (令和6年度)	建物名 (代表建物)	延床面積 (㎡)	建築年度	経過年数
皆野小学校	272	36	校舎	4,663	2005 (平成 17)	19
			体育館	1,050	1979 (昭和 54)	45
国神小学校	51	19	校舎	1,753	1979 (昭和 54)	45
			体育館	906	1983 (昭和 58)	41
三沢小学校	21	15	校舎	1,913	1983 (昭和 58)	41
			体育館	752	1985 (昭和 60)	39
皆野中学校	234	36	校舎	4,773	2007 (平成 19)	17
			体育館	1,195	1970 (昭和 45)	54
			武道場	463	2008 (平成 20)	16

ここからアンケート内容です

あなた自身とお子さんについてお聞きます

問1. あなたの年齢(保護者の年齢)を教えてください。

【 1つを選択 】

1 29 歳以下	2 30 歳代	3 40 歳代	4 50 歳代
5 60 歳以上			

問 2. お子さんの学年と人数を教えてください。

【 各学年に人数を入力 】

1 未就学児【 】	2 小学校1年生【 】	3 小学校2年生【 】	4 小学校3年生【 】
5 小学校4年生【 】	6 小学校5年生【 】	7 小学校6年生【 】	8 中学校1年生【 】
9 中学校2年生【 】	10 中学校3年生【 】		

問 3. お住まいの地域を教えてください。

【 1つを選択 】

1 大字皆野	2 大字下田野	3 大字金崎	4 大字国神
5 大字大淵	6 大字野巻	7 大字金沢	8 大字下日野沢
9 大字上日野沢	10 大字三沢		

現在の学校についてお聞きます

問 4. お住まいの地区の小・中学校について、満足していることはどんなことですか。

該当する番号を小学校と中学校それぞれで 3 つまで選択してください。

(これから通わせる場合は、今後、期待することを教えてください。)

(すでに卒業した場合は、満足していたことを教えてください。)

【小学校・中学校それぞれ 3 つまで複数回答可】

- | |
|--|
| 1 児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導が行われている
2 集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる
3 一人一人の活躍の場が作りやすい
4 児童生徒同士の交流が活発で、より良い人間関係が生まれやすい環境になっている
5 ゆとりや安心感のある雰囲気の中で学ぶことができる
6 行事や学習活動など、活気ある集団的活動ができる
7 保護者や地域社会との連携が図られている
8 特にないが、全体的に満足している
9 その他 (具体的にご記入ください) |
|--|

問 5. お住まいの地区の小・中学校について、心配に思っていることはどんなことですか。

該当する番号を小学校と中学校それぞれで 3 つまで選択してください。

(これから通わせる場合は、今後、気がかりなことを教えてください。)

(すでに卒業した場合は、気がかりだったことを教えてください。)

【小学校・中学校それぞれ 3 つまで複数回答可】

- 1 児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導が行われているか心配である
- 2 集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる機会が少ない
- 3 一人一人の活躍の場が作りにくい
- 4 人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくく感じ、心配である
- 5 行事や学習活動など、まとまった人数での集団的活動ができない
- 6 PTA活動などにおいて、保護者への負担が大きい
- 7 今後、児童生徒数が減少していくことに不安を感じる
- 8 特に心配なことはない
- 9 その他（具体的にご記入ください）

問 6. 児童生徒にとってよりよい教育環境にするために、重要だと思うことは何ですか。

該当する番号を 3 つまで選択してください。

【3つまで複数回答可】

- 1 クラス替えや席替えが行われ、人間関係が固定化しないこと
- 2 教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導が行われること
- 3 通学の負担が少ないこと
- 4 学校の施設や備品が充実していること
- 5 他の学校や異学年との交流が活発であること
- 6 地域の大人と関わり、郷土や伝統文化について学ぶ機会があること
- 7 自分の意見を発表する機会や行事等での役割が多いこと
- 8 多様な考えの中で社会性やコミュニケーション能力が身に付くこと
- 9 小・中学校が連携し、連続性・一貫性のある教育が行われること
- 10 その他（具体的にご記入ください）

小学校の統合・再編についてお聞きます

問 7. 小学校が統合・再編される場合、心配なことはありますか。

該当する番号を3つまで選択してください。

【3つまで複数回答可】

- 1 環境変化による子どもへの影響(心身の負担)
- 2 子ども同士の人間関係
- 3 教職員などの指導体制が変わること
- 4 通学距離(時間)が伸びたり、通学方法が変わったりすること
- 5 統合・再編により空き施設となった学校施設の利用
- 6 学級(学校)の児童数が増えること
- 7 地域から学校がなくなること
- 8 保護者の新たな費用負担が生じること
- 9 その他 (具体的にご記入ください)

--

問 8. 小学校の統合・再編により、家から学校までの距離が伸びた場合、通学手段として希望する方法は何ですか。

該当する番号を選択してください。

【一つを選択】

- 1 徒歩
- 2 公共交通 (町バス・路線バス)など既存の交通手段
- 3 スクールバスなど新たな移動手段の導入
- 4 その他 (具体的にご記入ください)

--

問 9. 小学校が統合・再編される場合、配慮してほしいことは何ですか。

該当する番号を3つまで選択してください。

【3つまで複数回答可】

- 1 子どもにとっての環境変化への対応(心身の負担)
- 2 事前の学校間交流など、円滑な人間関係づくりへの配慮
- 3 きめ細かな指導ができる教職員体制の確保
- 4 現在実施している地域学習や地域と関わる活動の継続
- 5 学校の建物や施設の整備
- 6 小学校の統合・再編に伴う保護者の費用負担の軽減
- 7 通学の方法と安全確保に関する対応
- 8 特別支援教育や個別の支援ができる体制の充実
- 9 保護者・地域住民への十分な説明
- 10 その他（具体的にご記入ください）

--

小・中学校の今後の在り方についてお聞きします

問10. 今後の皆野町の学校教育にどのようなことを期待しますか。

それぞれの項目に最も近いものを次のア～エから1つ選んでください。

- ア とてもあてはまる イ 少しあてはまる
ウ あまりあてはまらない エ まったくあてはまらない

- 1 知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康・体力)のバランスのとれた力を育成すること
- 2 習熟の程度や興味・関心に応じた指導により、一人一人を確実に伸ばすこと
- 3 夢と志を持ち、人生を切り拓くことのできる人材を育成すること
- 4 町の魅力を学ぶ機会の充実を図り、郷土を愛し、伝統と文化を尊重する人材を育成すること
- 5 多様な価値観や生き方に触れ、社会性やコミュニケーション能力を育成すること
- 6 義務教育9年間を見通した連続性・一貫性のある教育を行うこと
- 7 SDGsの実現に向けた教育を推進すること
- 8 多様な教育ニーズ(不登校支援・特別支援教育等)に応じた教育を充実させること
- 9 ICTの活用を推進し、情報活用能力を育成すること

問11. 今後の学校教育の在り方について、ご意見があればご記入ください。

【自由記述】

～ アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。 ～